

高等科裁縫

第二學年用

文部省調查會編輯發行部

文部省

昭和二十一年四月二十五日 印刷
昭和二十一年七月二十日 印刷發行
〔昭和二十一年四月二十五日 文部省 印刷〕

高等科裁縫 第一學年用（第一分冊）
◎ 定價 金六拾錢

著作權所有 著作權 文 部 省

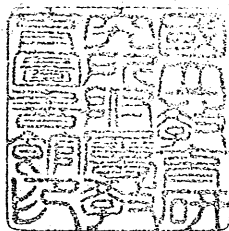
東京都京橋區銀座一ノ五
發行所 大日本圖書株式會社
代表者 佐久間 長吉郎
印刷者 佐久間 長吉郎
印刷所 大日本印刷株式會社
東京都牛込區市谷加賀町一ノ三

發行所 東京都京橋區銀座一丁目五番地
大日本圖書株式會社

Approved by Ministry
of Education
(Date Apr. 25, 1946)

目 録

一	乳児の着物	一
二	幼児服	五
三	男児服	八
四	男物 袷長着	十六
五	半幅帯	二十一
六	半てん・羽織	二十三
七	衣類のくり廻し	三十四
八	結び	三十六



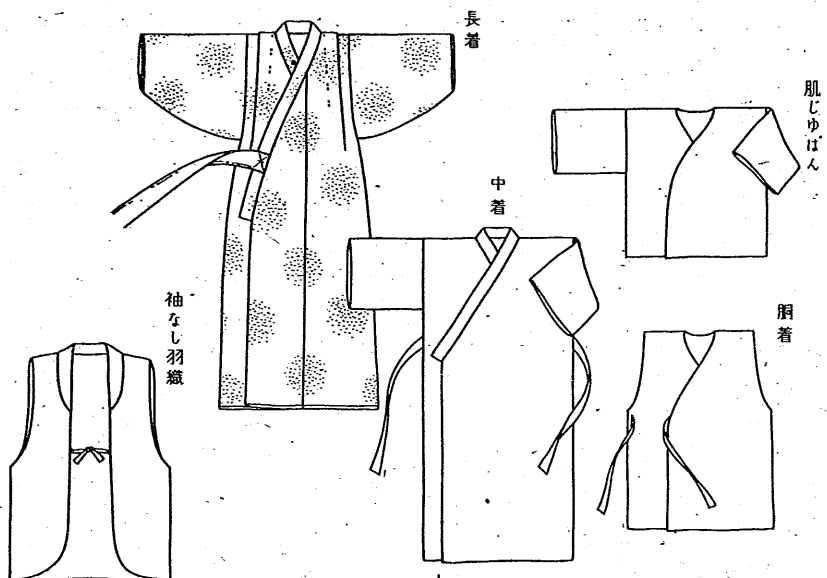
一 乳児の着物

乳児は發育の盛んな割合に抵抗力が弱いし、暑い寒いと言つて自分で着物の加減ができないのですから、育てる人の特別な心づかひがいります。見た目に美しくかはいらしくといふのは、愛育の情の自然でもあります。見た目が、それよりも、衛生を第一に考へなければなりません。生後四箇月ぐらゐまでの乳児は、大抵寝かせておきますから、手や足をとおほふ着物を着せます。その後は次第に運動を始めますから、運動を妨げないやうに、また皮膚のためにもなるやうに、工夫します。材料はなるべく軽く柔かいもの、仕立てはゆるやかに、縫ひ方は全部手縫ひにして、縫ひ目がかさばらないやうに始末します。いつもよく乾かして用ひるやうにし、特に夏は涼しく、冬は暖かいやうに、また紐なども、あまりきつくしめないやうに注意しなければなりません。

次の表は、乳児にほしい衣類の一揃ひを示したのであります。

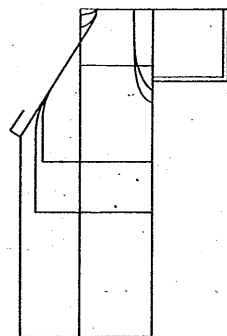
品 目	数	材 料	備 考
肌じゆばん	三	ガーゼ、さらし木綿の類	ガーゼは袷仕立てとする。
中 着	三	白ネルの類	衿は附けなくてもよい。
胸 着	二		綿入れまたは褌み物。
長 着	二		褌または綿入れ。
袖なし羽織	一	スフモス・スフ金巾・人絹・富士絹の類 綿或は真綿	まちを附けてもよい。 衿を褌まで附けてもよい。

よだれ掛	腹掛または 褌冷え知ら ず	むつき	むつきおほ ひ	足 袋	蒲 敷 掛 下
四	三	二〇	三	二	一
ガーゼ、さらし木綿・ ネルの類	新モス・ネル・タオ ルの類	さらし木綿・ゆかた 地・新モスの類	毛の物（古シャツ・ 古ズボンなどの利 用）	ネルの類、毛糸編み 物	スフモス・スフ金巾・ 人絹・富士絹の類、 綿
くびまはりの紐はガーゼがよい。 四箇月前後から動かないやうに 下部にも紐を附ける。		一二〇センチ（三尺二寸）を輪に したもの、並幅二枚、半幅一枚 を一組とする。 四箇月以後は三枚とも並幅にす る。	ゴム引き布は用ひてはいけない。	大きさ 敷幅 並幅 二布 丈 一一〇センチ （二尺九寸） 掛・掛下 並幅表二布・裏三布 丈 一一四センチ（三尺） 綿 百匁附け三枚 毛布があつたら併用してよい。	

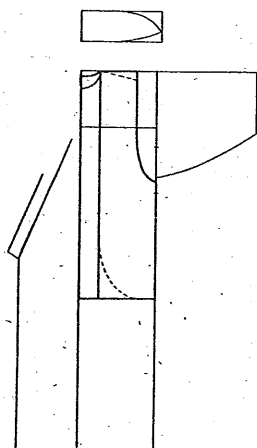


裁ち方

肌じゆばん・胴着・中着

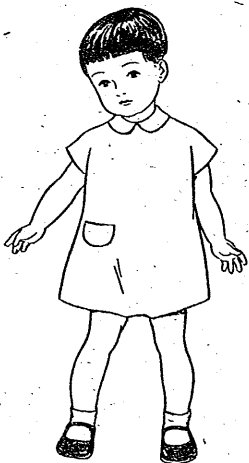


長着・袖なし羽織

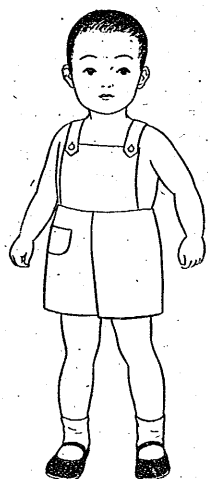


二 幼児服

その一 (二―三歳用)



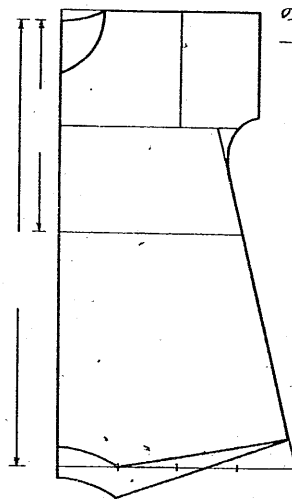
その二 (三―四歳用)



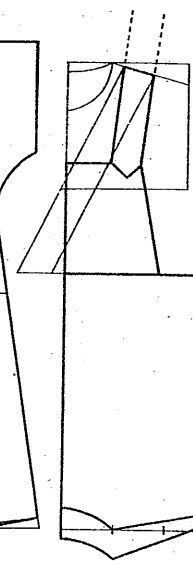
その三 (四―五歳用)



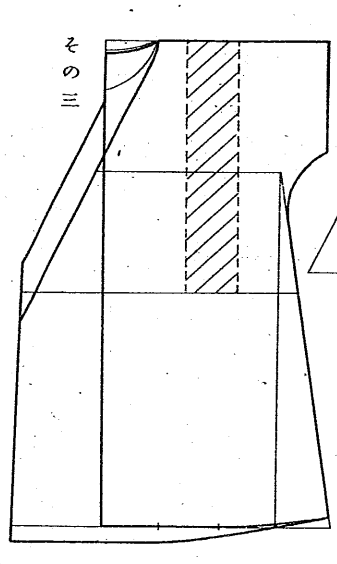
その一



その二



その三



形 その四 (六―七歳用)



型紙 その四

これまで学んだ型紙の取り方の應用でできます。
裁ち方・縫ひ方
着方・手入れ



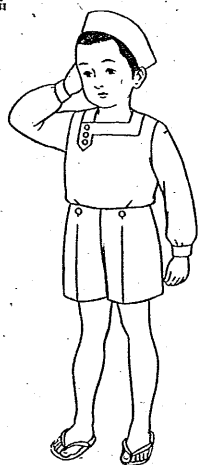
三男兒服

一形

(七・八歳から十四・五歳)



(三・四歳から五・六歳)



二材料

用布

附属品

三寸法

身長

腰まはり

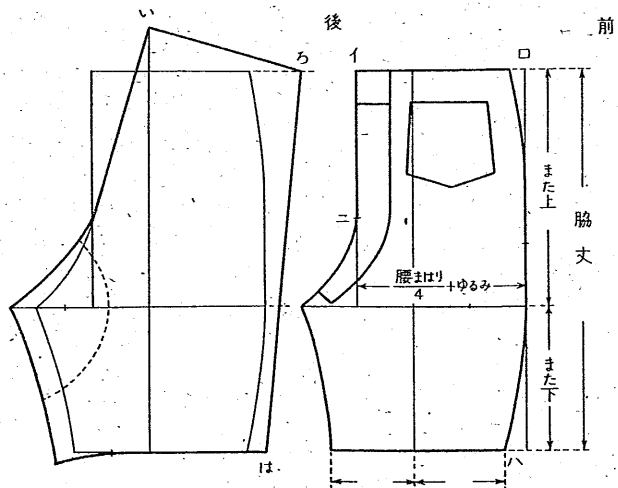
胸まはり

また上

脇丈は、季節によつて加減しますが、胸まはりの二センチ(五分)ほど上から適當な所まで測ります。割出しによるならば、膝上ぐらゐのものは、身長の十分の三ぐらゐにきめます。
また上は身長の五分の一に二センチ(五分)加へます。

四型紙及び裁ち方

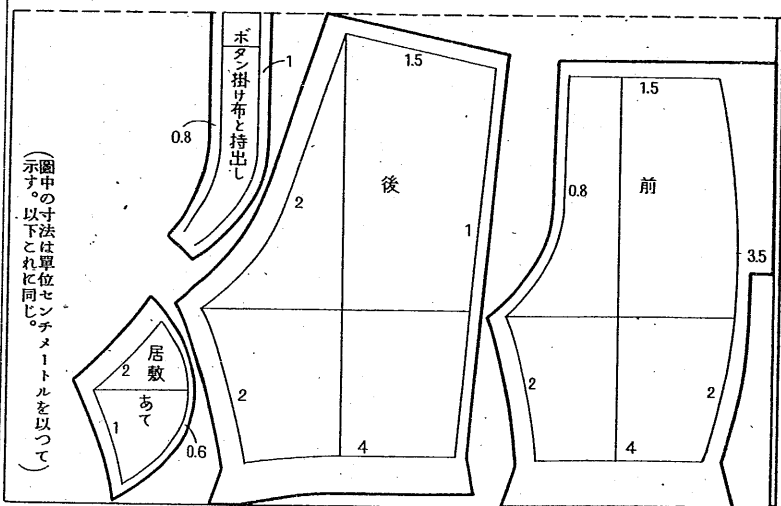
(一) 半ズボン



布幅 七六センチ（二尺）

身長

腰まはり 六〇センチ（一尺六寸）



（图中の寸法は単位センチメートルを以つて示す。以下これに同じ。）

縫ひ代

イ 前布 後布

ロ ボタン掛け布（表裏）と見返し

ハ 持出し

ニ 居敷當て

ホ 脇あけの見返し

ヘ 腰裏

ト 腰心

縫ひ方

イ くせ取り

ロ 裾を整へて折り、折り返りの間の縫ひ代を描へます。

ハ 後また上縫ひ 縫ひ目は割ります。

ニ 居敷當て

また上を縫ひ合はせて、縫ひ目を割り、周囲を

折つて、表（裏）に當て、まつりつけます。この

時また下の縫ひ代分だけ残しておきます。

ホ 脇あけの始末

へ 前あきの始末 ボタン掛け布の裏表を合はせて、

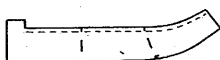
上は一・五センチ（四分）、下は一センチ（三分）

残して縫ひ、表へ返して穴かゝりをします。

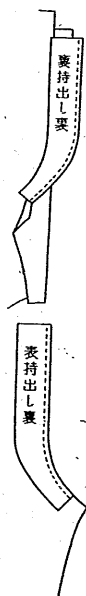
持出し布の表を下前の前あきに當て、上端は出来上り線から

三・五センチ（九分）、下端はあき止りの線まで縫ひ合はせ、縫

ひ目を割ります。

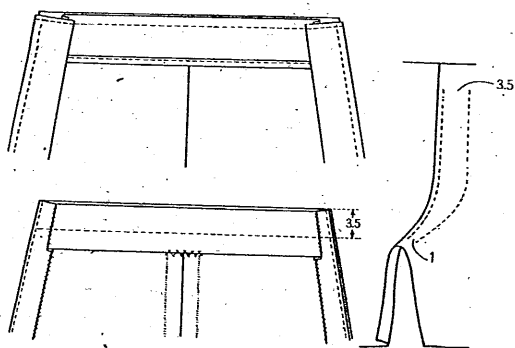


次に持出しの裏布を重ねて、外測を縫ひ合はせます。



上前の前あきに見返しを縫ひ附けます。上端は出来上り線から三・五センチ（九分）残し、下はあき止りまで縫ひます。

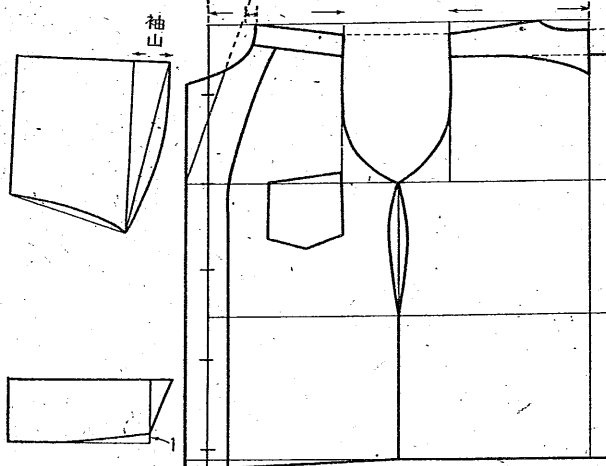
次に、上端の縫ひ残しとあき止りから下とを左右縫ひ合はせて、縫ひ目を割り、表へ返し、見返しの端と下前の持出しの縫ひ目をミシン縫ひにします。この時、持出しの裏もあさへます。



ボタン掛け布を裏に當てて假縫ひをし、表から、圖のやうにとち附けます。あき止りにはさしくわぬきをします。

- ト 脇縫ひ
- リ 腰裏
- ル また下
- ワ 仕上げ
- チ 腰心
- ヌ 脇の飾りミシン
- ヲ 穴かきり
- カ ボタン附け

(二) 上衣 背 大 背丈の二分の一

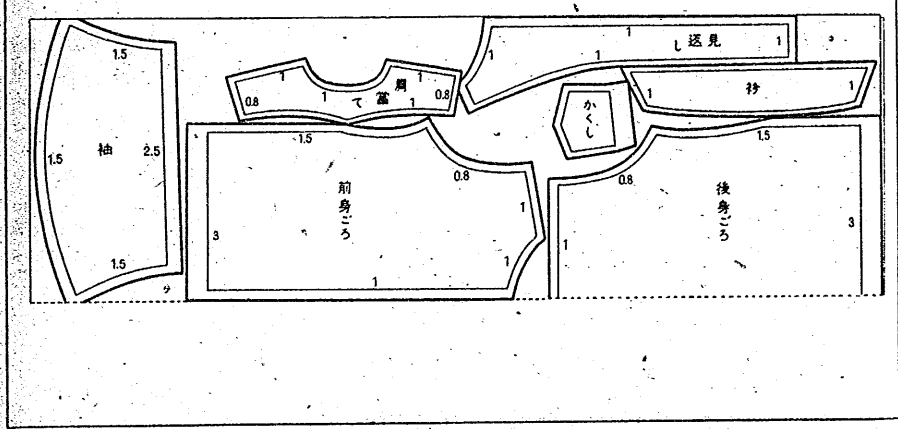


開き不良

K150,5-3

三男児服

布幅
七二センチ（一
尺九寸）
胸まはり
五八センチ（一
尺五寸五分）



十四

Approved by Ministry
of Education
(Date Mar. 22, 1916.)

昭和二十一年三月二十二日 翻刻印刷
昭和二十一年三月三十日 翻刻發行
（昭和二十一年三月二十日 文部省認可）

高等科裁縫 第二學年用（第一分冊）

定價金 四拾錢

著作權所有 發行作家 文部省

翻刻者 東京都京橋區銀座一ノ五

發行所 大日本圖書株式會社

代表者 佐久間 長吉郎

印刷者 佐久間 長吉郎

印刷所 東京都牛込區市谷加賀町一ノ二
大日本印刷株式會社

發行所 東京都京橋區銀座一丁目五番地
大日本圖書株式會社

1953 12 輸入